

大久保義勝さん 瑞宝単光章受章

大久保義勝さん（赤浜）が瑞宝単光章を受章されました。

大久保さんは、昭和40年7月陸上自衛隊に入隊以来、36年余りの長きにわたり松本・上越・倶知安・朝霞の各駐屯地に勤務され、対戦車分隊長、対戦車小隊小隊長、運用訓練准尉、中隊付准尉、服務指導幹部、対戦車小隊長等を歴任し、平成13年に3等陸尉として退官されるまで豊富な経験と卓越した識見をもって職務を遂行されました。

また、在職中は第54回熊本国体、第55回富山国体、第56回宮城国体に銃剣道選手として連続出場を果たした経歴もお持ちです。

なお、大久保さんは現在、寄居町自衛隊父兄会の会員として自衛官の募集や自衛隊に対する理解と協力の推進等に尽力されています。



加藤 進さん 瑞宝双光章受章

加藤進さん（立原）が瑞宝双光章を受章されました。

加藤さんは、昭和36年2月、寄居町消防団に入団。昭和40年4月に寄居町消防団常備部の発足に伴い、第1期生常備部団員を拝命以来、39年余りの長きにわたり、地域住民のため、献身的に消防業務に従事されました。

この間、知識と技術の向上を図るため、日夜自己研鑽に励み、各種災害の防衛活動において自己の任務を全うされました。また、平成元年4月からは、消防司令長として、部下の消防技術向上を図るために活躍され、平成4年4月には、寄居地区消防本部消防長に就任。豊富な知識と経験から消防行政に幅広く活躍され、地域消防発展のため、大きく貢献されました。



清水 薫さん 瑞宝双光章受章

清水薫さん（本村）が瑞宝双光章を受章されました。

清水さんは、昭和21年3月、用土村書記として奉職。昭和30年2月に合併により寄居町職員となり、税務課長、総務課長、土木課長、企画課長、産業課長等を歴任し、寄居町政の発展並びに地方自治の振興に貢献されました。

昭和57年10月には、豊富な行政経験と卓越した行政手腕を高く評価され、寄居町助役に就任。平成2年9月までの8年間、町長の補佐役として、寄居町教育文化、産業振興、都市計画事業推進、環境整備等、幅広い分野においてさまざまな施策を実施するとともに、健全な財政運営の推進にも尽力されるなど町の行財政運営の向上に大きく貢献されました。



石渡 勲さん 旭日小綬章受章

石渡勲さん（内宿）が旭日小綬章を受章されました。

石渡さんは、昭和50年5月から4期約16年間寄居町議会議員を務められ、この間、町正副議会議員や常任委員会委員長等を歴任されました。

さらに、平成3年4月からは埼玉県議会議員を4期16年間務められ、この間、県議会副議長、監査委員、常任・特別委員会委員長等を歴任され、埼玉県立川の博物館や彩の国資源循環工場の誘致など文化施設の充実や産業の振興に尽力されるなど地方自治の発展に大きく貢献されました。

こうしたさまざまな活動や功績により町石澤・高田賞等を受賞されたほか、平成19年3月からは町で5人目の名誉町民になられています。



彩の国コミュニティ協議会長から

シラコバト賞



健やかな
心身を育てる活動

中島敬子さん

中島敬子さん（用土8）は、子どもたちの安全と健全育成を願い、昭和55年からマユ玉で作ったカエルをかたどった御守りを地区の小学校の新入生全員に贈呈しています。また、地域の達人として小学校の授業に参加し、児童にマユ玉を使った創作を教えるなどの学校教育活動にも貢献されています。



郷土を知り、
郷土を想う活動

内田 茂さん

内田茂さん（山居）は、長年にわたり郷土芸能八木節の伝承活動を積極的に行っています。毎年、さまざまなイベントや訪問ボランティア活動等で八木節を披露するほか、郷土芸能の後継者育成活動にも貢献されています。

日ごろから、住みよい地域社会を実現するため、多くの方々が、長年にわたり実践活動を続けています。シラコバト賞は、こうした個人や団体に対し、贈られるものです。

中間平集落 第30回埼玉農林業表彰

11月1日、中間平集落が、行田市古代蓮の里で「第30回埼玉農林業表彰」を受けられました。



中間平集落は中山間地域であり、農作業には不利な地形でありながら、民間業者との梅の契約栽培を約20年継続しているほか、遊休農地の解消やキク科のハーブ「エキナセア」を他に先駆けて農産物として栽培するなど、積極的な取り組みが豊かで魅力ある農山村づくりとして認められ、今回の受賞につながったものです。

さまざまな分野に貢献された皆さんを

国や県
などが

表彰